



【学校図書館 & 授業づくりのヒント 12ヶ月】 10月 ② デジタルコンテンツあれこれ 2

10月①であげた「新聞記事データベース」「オンライン百科事典」「行政機関のwebサイト」の他、アプリや「YouTube」も活用できます。アプリやYouTubeは手軽に使えますが、内容の正確さや適切さ・信頼性について、事前に十分な確認が必要です。提供元が明確なものを使わせましょう。特徴としては、次のような点があげられます。

○興味・関心を持たせて、集中して効果的に活用させることができ、教材や資料が豊富になる。

○動画や音声・動きが入り、紙だけではわかりにくい内容を理解させやすい。

デジタルコンテンツはいずれも、同時に複数のパソコンやタブレット端末での検索が可能なので、クラス全体で同時にアクセスすることができます。また、映像・画像・音声などのコンテンツがあり、より詳しい情報を入手することができます。

デジタルコンテンツの特性を紹介してきましたが、活用にあたっては次のような点に配慮しましょう。

◇学習に適した内容であるか、信頼できる内容かを吟味してコンテンツを選択する。

◇オンライン百科事典は、図書の百科事典で使い方の基本を習得、習熟してから使わせる。

◇学習内容を定着させ、思考を深めさせるためには、コンテンツをただ見るだけでなく、意見交換をしたり、書いたり、作ったりと学習活動を工夫する。

◇デジタルコンテンツだけで学習を完結させるのではなく、図書等と併用したり、図書等に広げたりして、多様な資料から児童

生徒が適切に選び活用する力を養うようにする。

デジ読評価プロジェクトでは、デジタルコンテンツの評価基準を作成し、教材として推薦するデジタルコンテンツを公表しています。また、動画「学びを広げる学校図書館」を4本作成し、YouTubeで公開しています。「デジ読」ホームページでは、そのほかにもアプリの紹介や活用例などを掲載しています。ぜひご覧の上、参考にしてください。

デジ読評価プロジェクトが推薦しているアプリ



i地球儀



水島宏一の器械運動アプリ

デジ読作成動画「学びを広げる学校図書館」



教員として、今後ますます多様化するデジタルコンテンツの特性を見極め、効果的に活用できる力を身に付けたいものです。

東京学芸大学 デジ読評価プロジェクト
特命教授 對崎奈美子

